

研究報告

2015/06/12 M2 厚田耕佑

実施内容

チューナブルレーザー 6/5(金),6(土)

小谷報告書参照

8(月)

資生堂サンプルの計測を行った。サンプルの保管状態には問題が無かったようだが、サンプル作成時に空気が入ったためか、信号の取得が困難であった。サンプルには 30mW のレーザーを入射させた。信号が微弱であり、わずかに観測される基本波に埋もれる形となっている。

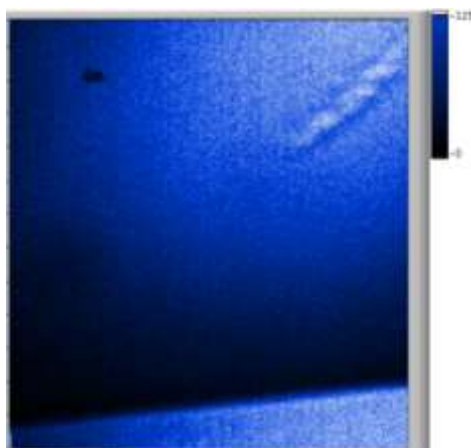


Fig.1 人動脈サンプル

線維芽細胞 9(火)

線維芽細胞の継代を行った。線維芽細胞が問題なく増えていることが確認できた。

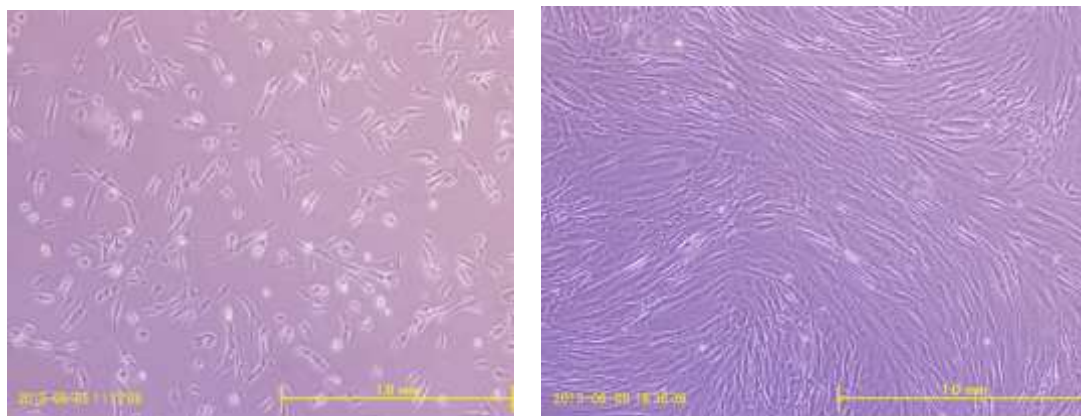


Fig. 2 線維芽細胞：解凍1日目(左)および4日目(右)

FPGA 8(月), 10(水)

NI 技術者とのディスカッションを踏まえて新しいプログラムを考案し, 作成する.
FPGA 側の VI を作成した.

今後の予定

チューナブルレーザーSHG: レーザー使用が可能になり次第, 再構築.

FPGA: ホスト側 VI の作成および信号取得・確認

線維芽細胞: 現在培養中の細胞を凍結保存, 伸展刺激など?(チューナブル再構築後)